



# 楓の誉

R3.4.30(第2号)

文責：洲上 佳宏

## 激動の一ヶ月が過ぎました

合志市立合志楓の森中学校が開校して、一ヶ月が経とうとしています。何もかも一から創り上げていく、生徒たちにとっても、教職員にとっても、まさしく激動の一ヶ月だったと思います。しかし、保護者の皆様のご理解や地域の皆様のご協力のおかげで、何とか大過ないスタートが切れたと安堵しております。

話は変わりますが、「〇〇ヶ丘」や「〇〇台」と名の付く中学校は、大抵一度は「荒れ」を経験すると言われています。おそらく、「里山や丘陵を切り開くなどして造成した新興住宅地域の中学校は…」という意味なのでしょう。本校は「森」と名の付く学校ですが、校区に新興住宅地を含んでいますし、周辺では今後住宅地の造成が加速するものと思われま

す。私は、本校には他に類を見ない素晴らしい教育施設があるので、その支えでここ数年は落ち着いた教育環境を維持できると思っています。しかし、五年後、十年後も本校が荒れなどを経験することなく、発展し続けているか否は、実は現在の学校経営が鍵を握っていると、私は過去の教訓



もみじ学級(3階)から見る楓の森(恵楓園)  
※ 私(校長)のお気に入りの風景です。

から学んできました。初代校長としての責任が、未来の合志楓の森中において問われると考える時、改めて身の引き締まる思いです。

新興住宅地域の中学校が荒れる場合、その一つの要因として挙げられるのが、「コミュニティの未成熟さ」です。近所付き合いが少なく、自治組織も十分機能していないが故に、誰もが「個人主義」に走り、問題やトラブルが起これば、「他人のせい、行政のせい、学校のせい」になってしまいがちです。

このような好ましくない校区の状況を補完していただけるのが、PTAという組織だと思います。現在、永清委員長をはじめPTA設立準備委員会の皆様が、ボランティアで六月のPTA設立を目指し奔走していただいています。校長として、感謝の念に堪えません。

また、合志楓の森中学校区の学校運営協議会(コミュニティスクール)、及び地域学校連携協働推進本部の立ち上げにも、今後取り組んで参ります。保護者、地域の皆様には、これらの組織・活動への積極的な関与や参加を切にお願いいたします。

## 体育大会の結団式を行いました

四月二十八日(水)の1校時、五月二十三日(日)に開催予定の体育大会の結団式を行いました。二メートル以上の間隔をとっても、二〇人の生徒が余裕で体育館に入りきり、改めて「大きな体育館！」と思えました。

まず、校長の話では、今年度は「第0回体育大会」と捉えて構わない。来年度が三学年そろった体育大会で、一年生は二度リーダーを経験できる。失敗を恐れず、思い切りチャレンジ

してほしいという旨の話をしました。

その後、体育委員長の福本君からの説明、続いて各団長(黄団・佐藤さん、赤団・佐藤君、青団・大嶋君)からの決意表明がありました。委員長及び団長三人の言葉には、新しい学校

での新しい体育大会へ向けた並々ならない意気込みが感じられ、頼もしく感じました。コロナ禍の影響で、体育大会が予定通り実施できるのか、また実施する場合にどの程度の制限をかける必要があるのかなど、不透明な部分がありますが、生徒たちにはそれぞれの持てる力を出し切り、青春を謳歌してほしいと思っています。



団長3人の決意表明



楓の森中 検索

### 学校生活の様子をご紹介します

保護者の皆様をお願いしていました学校ホームページ掲載同意書は、ご提出ありがとうございました。同意いただいたお子様については、必要最小限の肖像や氏名等も含め、学校の行事や活動の様子をHP上で紹介していきます。

小学校のHPを閲覧すると、既に更新が何度かされていました。中学校も小学校に負けないようHPの内容を充実させていきます。特に学校便りに掲載しきれないような日常生活の様子は、HPの「学校生活」で随時紹介していきますので、そちらでご覧いただければ幸いです。

<https://jh.higo.ed.jp/kaedenomori/>